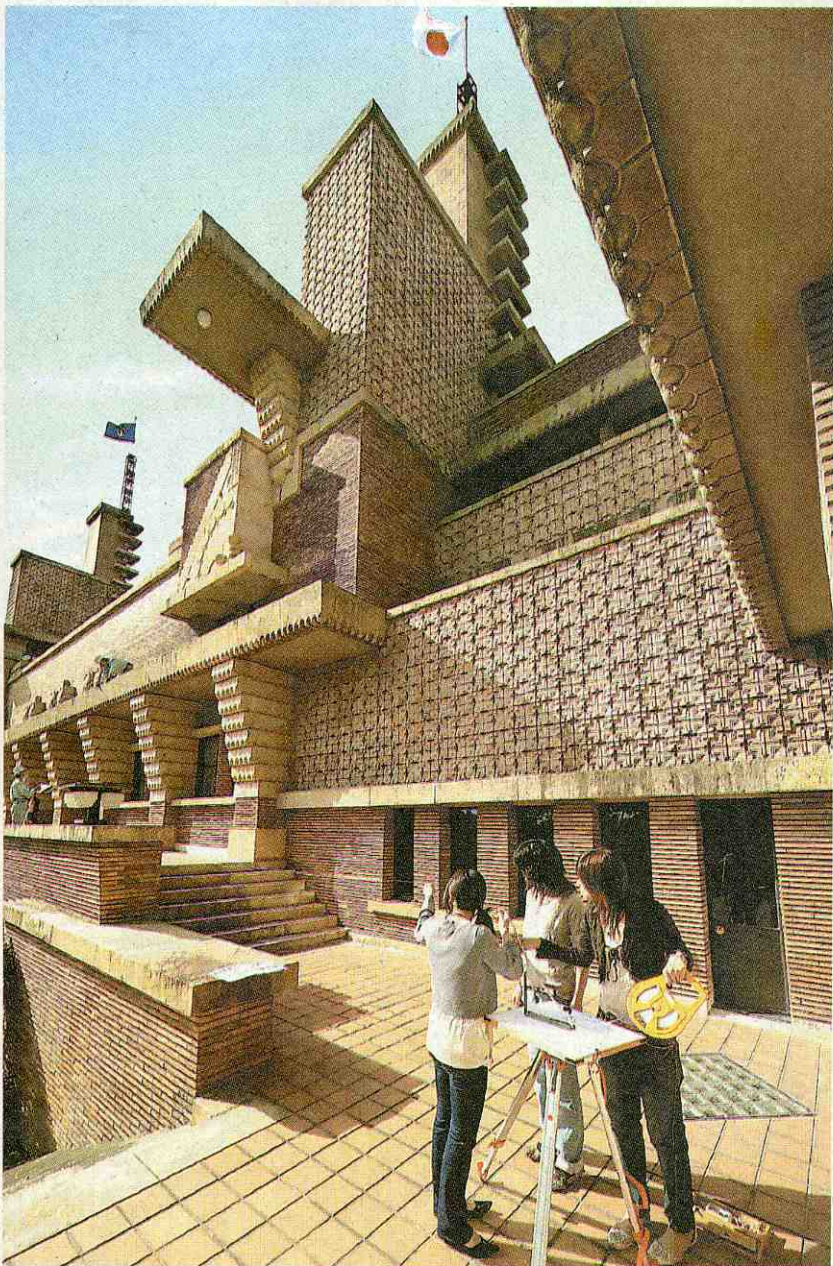




る。学舎となるのが、同大学上甲子園キャンパス(西宮市戸崎町)にある昭和初期の名建築「旧甲子園ホテル」(甲子園会館)だ。

JR甲子園口駅で降り南へ10分。松並木が続く武庫川沿いの閑静な住宅街に、旧甲子園ホテルが威容を現す。歴史をしのばせるレンガ色の壁、淡路産の緑の瓦。内部に入ると、東西二つのホールやロビー、廊下、和室が目を引く。洋式建築に、巧みに「和」の要素が取り入れられている。設計した遠藤新は、帝国ホテルや



名建築を教材に測量実習をする学生。築75年が過ぎたが、外観は完成当時の威容を誇っている

学びの空間が名建築

武庫川女子大学に来春、女子大と旧山邑邸(芦屋市山手町)のデザインでは日本初の建築学科が誕生す



はんしんeyes

写真・文 山田哲也

12

旧甲子園ホテル

フランク・ロイド・ライトの愛弟子。1930(昭和5)年に完成、関西政財界人らの社交場としてにぎわい、球聖ベーブ・ルースも宿泊したという。

だが、時代の波にもまれホテルは14年で幕を閉じた。第二次大戦末期の44年、国が海軍病院として接収。戦後、米進駐軍将校の宿舎兼クラブに。戦後12年で、国有財産になった。

一時は荒れ放題になったが65年、大下。その後、二度の大規模改修が行われ、学生寮などとして使用。90年から生涯学習の場として生まれ変わった。

来春、歴史的建造物で学ぶ世界的にもユニークな建築学科の舞台となる旧甲子園ホテル。近い将来、どんな感性と美意識を持った女性建築家が誕生するか、今から楽しみだ。休日、第2、4土曜を除き見学可。要予約。問い合わせは甲子園会館庶務課(0798・67・0079)。